

# スイッチのパスワード強度と複雑度の設定

## 目的

スイッチのWebベースのユーティリティに初めてログインするときは、次のようなデフォルトのユーザ名とパスワードを使用する必要があります。cisco/cisco.その後、シスコアカウントの新しいパスワードを入力して設定する必要があります。パスワードの複雑度はデフォルトで有効になっています。選択したパスワードが十分に複雑でない場合は、別のパスワードを作成するように求められます。

パスワードはデバイスにアクセスするユーザの認証に使用されるため、単純なパスワードはセキュリティ上の危険性があります。したがって、パスワードの複雑さの要件はデフォルトで適用され、必要に応じて設定できます。

この記事では、スイッチのユーザアカウントにパスワードの複雑さのルールを定義する方法について説明します。

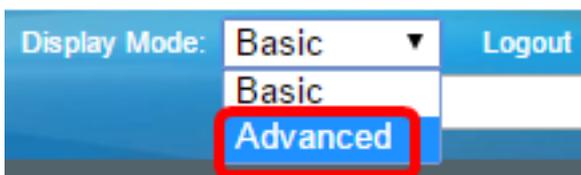
## 該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- Sx250 | 2.2.5.68 (最新の[ダウンロード](#))
- Sx300シリーズ | 1.4.7.05 (最新の[ダウンロード](#))
- Sx350シリーズ | 2.2.5.68 (最新の[ダウンロード](#))
- SG350Xシリーズ | 2.2.5.68 (最新の[ダウンロード](#))
- Sx550Xシリーズ | 2.2.5.68 (最新の[ダウンロード](#))

## スイッチのパスワード強度と複雑度の設定

ステップ1: スwitchのWebベースのユーティリティにログインし、[Display Mode]ドロップダウンリストで[Advanced]を選択します。

注: この例では、SG350X-48MPスイッチが使用されています。

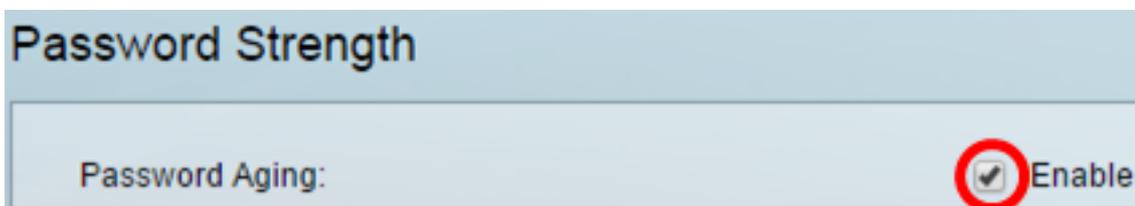


注: Sx300シリーズスイッチを使用している場合は、ステップ2に[進みます](#)。

[ステップ2:\[セキュリティ\]](#) > [パスワードの強度]を選択します。

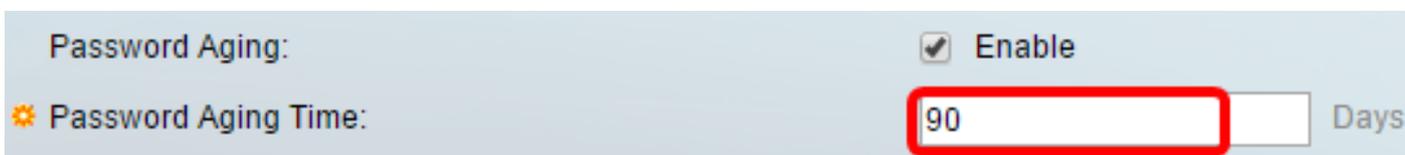


ステップ3: ( オプション ) パスワードエージング機能を無効にする場合は、[パスワードエージングチェックボックスを有効にする]チェックボックスをオフにします。このオプションを有効にすると、指定したパスワードエージングタイムが期限切れになったときにパスワードの変更を求めるメッセージが表示されます。この機能はデフォルトで有効になっています。



ステップ4 : ユーザがパスワードの変更を求められるまでの日数を入力します。デフォルト値は180で、範囲は1 ~ 356日です。この例では、90 が使用されます。

注 : ステップ3でこの機能を無効にした場合は、ステップ5に[進みます](#)。



注 : パスワードのエージングは、長さがゼロまたはパスワードなしにも適用されます。

[ステップ5:\(オプション\)](#)パスワードの複雑さルールを有効にするには、[パスワードの複雑さ設定]チェックボックスをオンにします。この機能を有効にした場合、新しいパスワードは次のデフォルト設定に従う必要があります。

- 8文字以上であること。
- 少なくとも3つの文字クラス ( 大文字、小文字、数字、および標準キーボードで使用可能な特殊文字 ) の文字が含まれます。
- 現在のパスワードとは異なります。
- 3回以上連続して繰り返される文字を含まない。
- ユーザ名または文字の大文字と小文字を変更して到達したバリエーションを繰り返したり反転したりしないでください。
- メーカー名または文字の大文字と小文字を変更して到達したバリエーションを繰り返したり反転したりしないでください。



注 : パスワードの複雑さの設定を有効にしない場合は、ステップ[10に進みます](#)。

ステップ6: ( オプション ) [パスワードの最小長(Minimal Password Length)]フィールドに、パスワードに必要な最小文字数を入力します。デフォルト値は8で、範囲は0 ~ 64文字です。

注：パスワードの長さがゼロまたはパスワードが許可されておらず、パスワードエージングを割り当てることができません。

Password Complexity Settings:  Enable

---

Minimal Password Length:

注：この例では、12 が使用されます。

ステップ7:[Allowed Character Repetition]フィールドに、文字を繰り返し可能な回数を入力します。デフォルト値は3で、範囲は0 ~ 16インスタンスです。

Allowed Character Repetition:

注：この例では、2 が使用されます。

ステップ8：パスワードに含める必要がある文字クラスの数を入力します。最大4つの異なる文字クラスをパスワードに適用できます。デフォルト値は3で、範囲は0 ~ 4文字のクラスです。

クラスは次のとおりです。

- 1 – 小文字
- 2 – 大文字
- 3： 数字または数字
- 4 – 記号または特殊文字

Minimal Number of Character Classes:

注：この例では、4 が使用されます。

ステップ9: ( オプション ) パスワード変更時に一意のパスワードを要求するには、[Enable The New Password Must Be Different the Current One]チェックボックスをオンにします。

The New Password Must Be Different Than the Current One:  Enable

ステップ10:[Apply]をクリックします。

## Password Strength

Password Aging:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
✳ Password Aging Time:	<input type="text" value="90"/>
Password Complexity Settings:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
<hr/>	
✳ Minimal Password Length:	<input type="text" value="12"/>
✳ Allowed Character Repetition:	<input type="text" value="2"/>
✳ Minimal Number of Character Classes:	<input type="text" value="4"/>
	Up to four distinct character classes: upper case, lower case, number, and special characters.
The New Password Must Be Different Than the Current One:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable

ステップ11: ( オプション ) [Save]をクリックし、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。



これで、スイッチのパスワード強度と複雑度の設定が正常に行われたはずです。

スイッチのシリーズに関連するすべての記事へのリンクを含む詳細については、該当する製品ページを参照してください。

- [250シリーズスイッチ製品ページ](#)
- [300シリーズスイッチ製品ページ](#)
- [350シリーズスイッチ製品ページ](#)
- [350Xシリーズスイッチ製品ページ](#)
- [550シリーズスイッチ製品ページ](#)
- [550Xシリーズスイッチ製品ページ](#)